

ねじの耐ゆるみ性能試験法規格

1 趣旨

この規格は、木造建築物用接合金物認定規程（HW-金物 001-2016）第9条の規定に基づき、接合金物のねじの耐ゆるみ性能を評価するための標準的な試験方法を示すものである。

2 ねじが戻り回転してゆるむのを防止する性能試験

2.1 試験方法

米国航空宇宙規格 NAS3350 に準拠した加速振動試験機で実施する。

2.2 供試体

供試体に使用する基準試験体及び申請試験体は、表1に適合するものとする。

表1 供試体の種類

種類	内容
基準試験体	当センター規格の六角ボルト M12 及び六角ナット M12 (2種) ただし、六角ナットはシングルナット及びダブルナットとする。
申請試験体	申請者の六角ボルト M12、六角ナット M12 及びその他

2.3 試験前検査

供試体は、試験の結果及びその扱いに大きな影響を及ぼす重要な要因であるため、試験前に表2の検査方法及び判定基準で確認し記録・管理する。

表2 検査方法及び判定基準

供試体	検査方法及び判定基準
基準試験体	接合金物認定の技術基準(HW-金物 006-2016)表1承認の技術基準によること
申請試験体	接合金物認定の技術基準(HW-金物 006-2016)表1承認の技術基準と同等であること

2.4 試験条件

- (1) 供試体は次の条件で試験を実施し、17分間緩まなかったときは、戻しトルクを測定する。
ただし、再使用ができない申請試験体は、(4)を除くことができる。
- (2) 2.2の供試体は、特別な理由がない限り未使用のものを用い、原則として再使用はしない。
- (3) 基準試験体及び申請試験体の締め付けトルクは、申請試験体と同じとする。ただし、指定がない場合は、19.6N・mmとする。ダブルナットの締め付けトルクは、両者とも同じトルクとする。
- (4) ナットは締め付けトルクで4回着脱し、5回目に締め付けトルクで締め付ける*。
- (5) ボルト、ナット及び治具用ワッシャには、マーキングを施す。
- (6) 試験体数は、それぞれ3体とする。
- (7) 振動数は、1750～1800rpm*とする。
- (8) 振動加速度は、実測値 19.5G*とする。
- (9) 振動幅は、11mm*とする。
- (10) 衝撃幅は、19mm*とする。
- (11) 振動回数は、30,000回(約17分間)とする。

*：NAS3350の規格に準拠

2. 5 試験結果の報告

試験のデータを報告する場合は、試験結果報告書に次の項目を記述する。

- (1) ボルトの仕様
- (2) ナットの仕様
- (3) その他の仕様
- (4) 試験装置の仕様
- (5) 供試体のセット状態
- (6) 試験結果
- (7) その他

参考

- ・ (一財) 日本品質保証機構の試験方法
- ・ NAS (NATIONAL AEROSPACE STANDARD) 3350
- ・ 建築工事標準仕様書 JASS6 鉄骨工事

以上

制定 平成28年6月21日